

幸町地区総合整備の検討状況について

1 経緯

幸町地区（※1）には、呉市立美術館（以下「美術館」といいます。）や呉市入船山記念館（以下「入船山記念館」といいます。）などがあり、市民や観光客が歴史・文化・芸術に親しむことができる地区となっています。

幸町地区にある青山クラブ・桜松館については、平成30年に呉市が国から取得し、これまで活用案の検討やニーズ調査等を行ってきました。こうした中、令和4年11月及び令和5年1月の総務委員会において、幸町地区の歴史的経緯等を踏まえ、同地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備することにより、地区全体の魅力を高め、市内の回遊性向上につなげ、多くの観光客が訪れるにぎわいを創出するとともに、市民が普段から利用（活動・交流）できる地区となるよう、同地区の総合整備について一体的に検討を進めていくことを報告しました。

この基本的な考え方にに基づき、令和5年5月から、建築、都市計画、歴史、文化・芸術の学識経験者等で構成される幸町地区総合整備検討有識者会議（5(1)参照。以下「有識者会議」といいます。）を設置し、エリアデザインの取りまとめに向けた検討を行い、令和6年2月の総務委員会において、有識者会議で中間取りまとめを行った幸町地区の整備コンセプト及び同地区に求める機能について報告を行いました。

その後、令和6年6月3日に開催した第6回有識者会議では、「幸町地区総合整備事業案」として、美術館の建替え及び青山クラブの保存・活用に係るこれまでの有識者会議での議論を踏まえ、6案の整備案を提示しました。

この度、第6回有識者会議において6案から絞り込んだ3案について、詳細な検討を実施しましたので、その内容を含め、現在の検討状況を報告します。

（※1）美術館、入船山記念館及び青山クラブ・桜松館が立地する地区

2 有識者会議における検討状況

(1) 有識者会議の開催状況

令和5年5月の有識者会議設置後、会議を6回開催し、幸町地区の現況（5(2)参照）や歴史的経緯などを踏まえ、提案や議論を重ねながら、整備コンセプト、幸町地区に求める機能、地区内の施設の配置、建物の活用方法等について検討しました。

今後も引き続き、有識者会議を開催し、地区内の施設の配置、建物の活用方法や整備イメージ図等を示したエリアデザインを取りまとめます。

	日時	会場	主な議題
第1回会議	令和5年5月31日(水) 18時00分～20時15分	呉市役所	○幸町地区の現状と課題の共有 ○地区に必要と考えられる機能について
第2回会議	令和5年8月2日(水) 18時00分～19時45分	呉市役所	○整備コンセプトについて ○各施設の在り方について
第3回会議	令和5年9月29日(金) 18時00分～20時00分	呉市役所	○整備コンセプトについて ○幸町地区に求める機能について
第4回会議	令和5年11月21日(火) 18時00分～20時15分	呉市役所	○整備コンセプトの取りまとめ ○幸町地区に求める機能の取りまとめ
第5回会議	令和6年3月27日(水) 18時00分～20時40分	呉市役所	○幸町地区に求める機能の具体案について ○幸町地区の機能の配置案について
第6回会議	令和6年6月3日(月) 17時00分～19時20分	呉市役所	○幸町地区総合整備事業案 美術館・青山クラブの整備に係る6案を提示

(2) 第6回会議の検討内容

ア 幸町地区総合整備事業案の提示

美術館の建替え及び青山クラブの保存・活用に係るこれまでの有識者会議での議論を踏まえ、6案の整備案を提示しました。

(7) 美術館の建替え

	A案 現在地での建替案	B案 青山クラブ敷地での新築案
整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地で建替え，3階建て ・延べ面積：約4,500㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・青山クラブ敷地の一部に新築，2階建て ・延べ面積：約4,500㎡
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地での建替えとなり，故山苑，美術館及び桜松館の一体的な活用が可能となる。 ・国道沿いから奥まったところに美術館を配置することで，閑静で落ち着いた雰囲気を感じることができる美術館とすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館として，自由度の高い建物のレイアウトが可能となる。 ・2階建ての建物にすることで，幸町地区の景観との調和を確保することが可能となる。 ・国道沿いに美術館を配置することで，中庭を含めて開放感のある美術館とすることができる。 ・幸町地区の一番低い場所に美術館を設置することで，子どもや高齢者の訪れやすい施設となり，地区全体の集客力あるエントランスになる。
整備に当たっての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建築面積が狭く，建物のレイアウトが制限されることが懸念される。 ・3階建てになるため，幸町地区の景観との調和を保った建物を建設する必要がある。 ・青山クラブの建物について，活用面積がB案に比べて大きくなるが，耐震補強等により，建物の活用可能面積が縮小するとともに，天井高が低くなることで，青山クラブの建物の使用方法が制限されることが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故山苑との一体的な活用が困難となる（桜松館との一体的な活用は可能）。 ・新たに整備する美術館は，天井高4.5mが求められているが，現在の青山クラブの建物では，天井高を確保することができない。 ・青山クラブ敷地の一部に美術館を新築する場合，青山クラブの建物の一部を解体する必要がある。

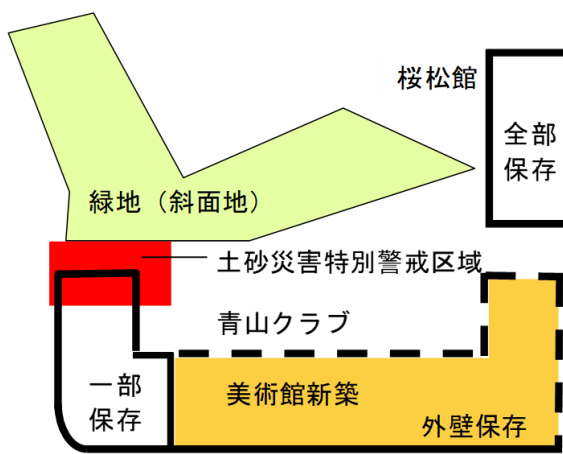
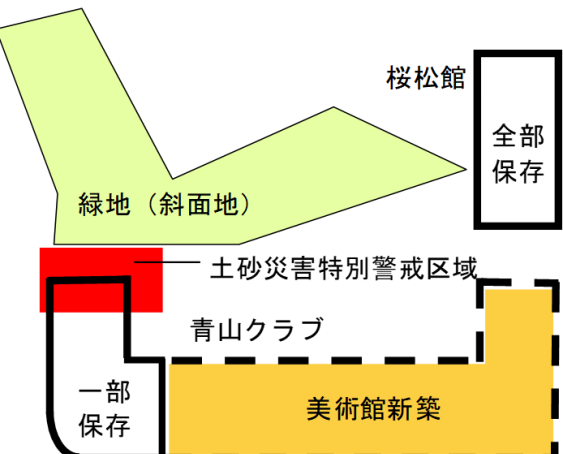
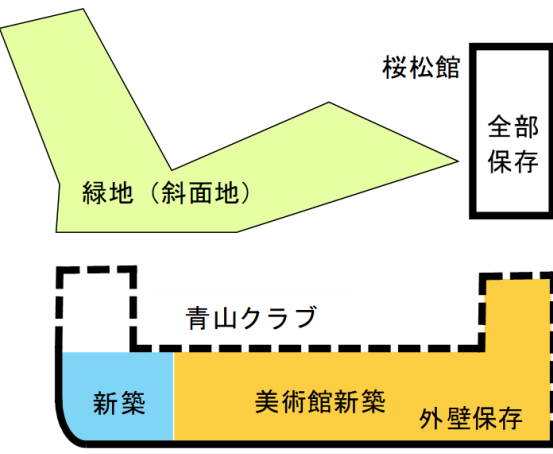
(イ) 青山クラブの保存・活用

青山クラブの保存・活用方法（全部保存・一部保存・外壁保存）に関するこれまでの有識者会議での議論を踏まえ、美術館の建替えに係るA案（現在地での建替案）及びB案（青山クラブ敷地での新築案）について、それぞれ3案ずつ検討し、6案を提示しました。

【A案 現在地での建替案】

A-1案 青山クラブ全部保存案	A-2案 青山クラブ一部保存案	A-3案 青山クラブ外壁保存案
<p>桜松館 全部保存</p> <p>緑地（斜面地）</p> <p>土砂災害特別警戒区域 基礎杭が腐食しているエリア</p> <p>青山クラブ 全部保存</p>	<p>桜松館 全部保存</p> <p>緑地（斜面地）</p> <p>土砂災害特別警戒区域 基礎杭が腐食しているエリア</p> <p>一部解体 一部保存</p> <p>青山クラブ 一部保存</p>	<p>桜松館 全部保存</p> <p>緑地（斜面地）</p> <p>青山クラブ 外壁（一部のみ）保存し、 建物を新築</p>
<p>【整備案概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山クラブの建物の全部を保存した形で利活用する。 ただし、土砂災害特別警戒区域部分及び基礎杭が腐食している区域は未活用エリアとする。 	<p>【整備案概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山クラブの建物のうち、土砂災害特別警戒区域部分及び基礎杭が腐食している区域を一部解体し、国道沿いの部分を保存した形で利活用する。 	<p>【整備案概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山クラブの外壁を残して建物を解体し、必要な機能の想定面積の建物を新築整備する。
<p>【整備費】</p> <p>青山クラブ：約 93億円 桜松館：約 25億円 2施設合計：約 118億円</p>	<p>【整備費】</p> <p>青山クラブ：約 57億円 桜松館：約 25億円 2施設合計：約 82億円</p>	<p>【整備費】</p> <p>青山クラブ：約 15億円（※） 桜松館：約 25億円 2施設合計：約 40億円 （※）建物新築費用を含まない。</p>

【B案 青山クラブ敷地での新築案】

B-1案 青山クラブ一部保存 +外壁保存案	B-2案 青山クラブ一部保存案	B-3案 青山クラブ外壁保存案
		
<p>【整備案概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山クラブの建物の一部を保存し、情報発信、物販・カフェ・レストラン等の必要な機能の想定面積を収めるとともに、国道沿いの部分の外壁を残して建物を解体し、美術館を新築整備する。 	<p>【整備案概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山クラブの建物の一部を保存し、情報発信、物販・カフェ・レストラン等の必要な機能の想定面積を収めるとともに、残りの建物を解体し、美術館を新築整備する。 美術館新築部分について、青山クラブの建物のイメージを踏まえた外観とすることは可能である。 	<p>【整備案概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青山クラブの外壁を残して建物を解体し、必要な機能の想定面積の建物を新築整備する。
<p>・土砂災害特別警戒区域部分を未活用エリアとする。</p>		
<p>【整備費】</p> <p>青山クラブ：約4.3億円（※） 桜松館：約2.5億円 2施設合計：約6.8億円 （※）美術館新築費用を含まない。</p>	<p>【整備費】</p> <p>青山クラブ：約4.2億円（※） 桜松館：約2.5億円 2施設合計：約6.7億円 （※）美術館新築費用を含まない。</p>	<p>【整備費】</p> <p>青山クラブ：約1.5億円（※） 桜松館：約2.5億円 2施設合計：約4.0億円 （※）建物新築費用を含まない。</p>

(ウ) 桜松館の保存・活用

桜松館の建物については全部を保存し、多目的ホール、多目的スペース・貸室及び音楽活動練習室として活用する案を提示しました。

イ 第6回会議での事業案の絞り込み

有識者会議での議論を踏まえ、次の3案に絞り込み、詳細な検討を行うこととしました。

検討案	主な意見
【第1案（A-1案）】 美術館現在地建替え 青山クラブ全部保存案	<ul style="list-style-type: none">・海軍の下士官兵集会所として建設され、戦後は英連邦占領軍が司令部を設置。戦後は、海上自衛隊の厚生施設として使用されるなど、呉の市民生活に密着した施設として、貴重な存在であり、全部保存すべき。・建物を改修して使用するのには、補強費や、将来的な維持管理費用が増大するなど、非常に不経済であることから、賛成できない。
【第2案（B-2案）】 美術館青山クラブ敷地・中庭新築 青山クラブ一部保存案	<ul style="list-style-type: none">・現在の美術館の建物を守り、新しい美術館を開かれた場所に作るという意味で美術館の青山クラブ敷地新築案が良い。・青山クラブの建物の印象的なRの形状の部分（国道とJR呉線に面した建物北側のR状の形状となっている部分）は残すことを検討すべき。
【第3案（A-3・B-3案）】 青山クラブ外壁保存案	<ul style="list-style-type: none">・景観を残すことが重要であり、青山クラブのイメージ上重要な建物のRの形状の部分や外壁を残せば良い。・将来にわたってどのように使うかということを考えると、保存する部分は、ごくごく限られた部分で良いのではないか。

(3) 第7回会議の検討内容

別紙「幸町地区総合整備事業案（第7回幸町地区総合整備検討有識者会議）」により検討を行う予定です。

3 若者の意見の聞き取り

近隣の高等学校等の生徒を対象として、「高校生を始めとした若い世代の人たちの場所」として、必要となる機能の具体的内容について聞き取りを行う予定です。聞き取りを行った内容は、有識者会議に提示し、今後の検討に反映していきます。

4 今後のスケジュール

有識者会議において、美術館の建替え並びに青山クラブ及び桜松館の保存・活用について検討し、取りまとめていきます。

これらの検討を踏まえ、有識者会議において、整備のイメージパースや幸町地区内の各施設の整備内容・方法、整備スケジュール、概算事業費などを示した幸町地区のエリアデザインを取りまとめ、有識者会議の最終報告として市に報告を行い、令和6年度中に市において幸町地区総合整備方針を策定します。

本日の総務委員会で頂いた意見につきましては、9月9日に開催する第7回有識者会議に報告し、今後の検討に反映していきます。また、市において、幸町地区総合整備方針の策定を行う前に、総務委員会への行政報告を行います。

	令和5年度				令和6年度					令和7年度
有識者会議	●第1回 (5月31日)	●第2回 (8月2日)	●第3回 (9月29日)	●第4回 (11月21日)	●第5回 (3月27日)	●第6回 (6月3日)	●第7回 (9月9日)	●第8回 (11月予定)	●第9回 (1月予定)	
				※中間取りまとめ ・整備コンセプト ・幸町地区に求める機能			↔ 若者の意見 聞き取り	※取りまとめ ・エリアデザイン	●【市】幸町地区 総合整備方針策定	【市】幸町地区 総合整備 基本計画策定
議会				◎行政報告 (2月6日)			◎行政報告 (9月6日)	◎行政報告 (12月予定)		

5 参考

(1) 有識者会議委員（令和6年9月時点）

氏名	専門分野等	団体・機関・役職
岡 雄大	物販・飲食・宿泊等	株式会社 S t a p l e 代表取締役
櫻井 猛	自衛隊と市民の交流	海上自衛隊呉地方総監部 管理部長
河崎 圭一郎	まちづくり活動	入船山秋祭り実行委員会 代表
下倉 玲子	建築計画・教育施設	呉工業高等専門学校建築学科 准教授
田中 貴宏	都市計画	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
戸高 一成	歴史・文化	呉市海事歴史科学館・入船山記念館 館長
福永 治	芸術・文化	京都国立近代美術館 館長
松野 一成	耐震構造	呉工業高等専門学校建築学科 教授
水田 丞	日本近代建築史	広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授
横山 勝彦	芸術・文化	呉市立美術館 館長

(2) 幸町地区の現況（施設概要・位置図）

- ① 旧呉海軍工廠塔時計**
【大正10年設置】
 終戦まで、呉工廠とともに歴史の時を刻む。昭和46年、移設展示。昭和56年、呉市有形文化財指定
- ② 旧高鳥砲台火薬庫**
【明治35年建設】
 陸軍が建設した高鳥砲台の跡地から昭和42年、移築復元。平成23年、国登録有形文化財に登録
- ③ 旧東郷家住宅離れ**
【明治23年建築】
 呉に在住していた東郷平八郎が、明治23年から住んでいた家の離れ座敷を昭和55年に移築・復元。平成9年、国登録有形文化財に登録
- ④ 郷土館【昭和54年建築】**
- ⑤ 2号館【昭和42年建築】**
- ⑥ 歴史民俗資料館(近世文書館)**
【昭和61年建築】
 旧呉鎮守府司令長官官舎とともに呉市入船山記念館を構成し、呉市立美術館と幸町地区の文化ゾーンを形成。呉市の歴史資料を展示しているが、設備の老朽化や展示資料の分散、収蔵スペース不足等の課題がある。
- ⑦ 旧呉鎮守府司令長官官舎**
【明治38年建築】
 呉鎮守府開設に伴い、明治22年に建設された軍政会議所兼水交社が、明治38年の大地震によって倒壊し、平屋建てに再建。平成4年から3年を掛け復原修理を実施。平成10年、国重要文化財指定



- ◆ 東郷元帥ゆかりのイチヨウ**
 英国の造船所で建造された日本海軍の軍艦「比叡」の進水式の際、英国海軍官舎の庭に日本から贈られた銀杏が植樹された。「比叡」を東郷平八郎が日本に回航したことから、東郷元帥ゆかりの銀杏として語り継がれ、2020年7月、挿し木で得られた苗木を植樹
- ◆ 乙女椿**
 長者の娘と貧しい漁師の若者とが恋に落ちたが、結ばれることを許されず二人は海に身を投じた。娘のなきがらが流れ着いた呉浦に、椿が一輪の花を咲かせ、夜になると光を発し、舟人たちが夜の舟旅の目印にしたとの伝説が残っている。現在は2代目
- ⑧ 美術館 本館【昭和57年建築】**
- ⑨ 美術館 別館【平成5年建築】**
 本館は展示室や講座室、別館は収蔵庫や喫茶コーナーがある。本館は開館から40年が経過し設備の老朽化が顕著となっていることや、収蔵機能が別棟にあることなど、運用上の課題がある。
- ⑩ 桜松館【昭和4年建築】**
 戦前は海軍の講堂、戦後は進駐軍の占領施設となった後、昭和33年より海上自衛隊の厚生施設となり、昭和55年からは、海上自衛隊呉音楽隊の庁舎として使用された。
- ⑪ 青山クラブ【昭和11年建築】**
 戦前は海軍の下士官兵集会所、戦後は呉市に駐留した英連邦占領軍が司令部を設置。司令部の移転後は、「呉ハウス」として使用。昭和33年より海上自衛隊の厚生施設となり、喫茶店や宿泊施設等として使用された。

※地区面積：22,759 m²（呉市公有財産台帳による）